

# THE NEW FACE

## 西東京市で創業した 新企業を紹介!!



「高齢者が楽しくのびのびと運動してくれるのは大きな喜び」と語る鈴木社長

### 企業 Data 株式会社リンクスケア

◆住所:西東京市ひばりが丘1-4-28 長尾ビル1階3号  
◆電話:042-439-9479

一人一人に合った運動プログラムで  
**介護予防のリハビリサービスを提供**

ひばりが丘駅南口から徒歩2分、ビル1階の奥にリハビリ特化型デイサービス施設「ステップぱーと」な一ひばりが丘第2事業所」がある。運営するのは株式会社リンクスケア(鈴木啓孝社長)。専門のトレーナーが軽度の介護が必要な高齢者の機能訓練をサポートしている。鈴木社長は先に株式会社リンクスケアを設立し、平成22年から高齢者向けの配食サービスを行ってきた。「弁当を自宅にお届けすると、足や腰が痛くて買い物にも行けないと話す方が多いです。元気なうちに運動して筋力を維持できれば、もっと楽しいシニアライフが送れる」と思い、運動機能維持・改善できるデイサービス施設を作りたいと考えました」と、鈴木社長は起業した動機を語る。

平成25年5月に開所。リハビリを中心とした3時間のデイサービスで、利用者は個別の訓練メニューに従い、高齢者専用のマシントレーニングやストレッチ運動、足浴・足裏マッサージなどを受ける。開所1年目は利益が上がりなかつたが、2年目に入ると少しずつ利用者が増え、3年目の今年、ようやく軌道に乗った。しかし、介護保険法の改正で今後、要支援者への予防給付が介護保険から外れ、介護予防は市区町村の事業になるため、まだまだ課題が残る。「事業者求められるのは変化への対応力。市と連携しながら市内の高齢者のよりよい生活をサポートしていきたい」と鈴木社長は話す。



マット上でストレッチ運動(可動域改善)



専門のトレーナーが個別にサポート

## 西東京市のちょっと気になるお店



### 1週間かけて作るデミグラスソースが決め手 高品質の肉と野菜たっぷりのヘルシー洋食



真っ白なコック帽が似合う田中さん

田無駅北口に平成24年10月、洋食の店「たなかや」(田中一行代表)がオープンした。30年来、同所で経営していたスナックを閉店し、リニューアルオープンさせた。その転身には、オーナーシェフの田中さんの若い頃からの夢があった。「十代の頃から修行をしてきた洋食が好きで、当時覚えたタルタルソースなどのレシピも全部取ってありました。60歳になつて残りの人生を考えたとき、よし、洋食の店をやろうと決心したのです」と、田中



鳥取・大山鶏を使った「とり肉の鉄板焼き」



アットホームな雰囲気店舗

### 企業 Data

#### たなかや

◆住所:西東京市田無町3-11-13-101  
◆電話:042-465-3383  
◆営業:午前11時半~午後2時半、午後5時~午後11時半  
定休日:年中無休

さんは開店の思いを語る。おいしい洋食は素材が大切と考え、鶏肉は鳥取の大山鶏、牛肉は黒毛和牛を使う。6時間ほど煮込んで作る「牛ほほ肉の煮込み」は、ほろほると柔らかく、口の中であろけそうだと評判だ。また、店の味のベースにな

るデミグラスソースは、4kgもの牛骨に玉ねぎ、人参、香味野菜をたっぷり入れ、約1週間かけて作る。栄養バランスを考えて、付け合わせの野菜の品数と量が多いのも特徴。懐かしい昭和の味が楽しめる。カウンタ10席、6人がけのテーブルが1つの小さな店内だが、ワインなどお酒も豊富で、ランチも行っている。ビジネススマンや家族連れなど客層は幅広い。

たなかや 西東京市 検索

## 昭和のぬくもりを伝える酒屋

### 会話を大切に良質な商品を配達



市民講座などの講師として、味噌の美味しい食べ方など伝授している山崎社長



密封されていない味噌は程よい発酵が続き本来の風味を味わえる。開業当初から使用している台秤

開業以来51年にわたり、酒類や食料品を販売する有限会社三又酒店(山崎明社長)は、顧客とのふれあいを大切にしている。昔ながらの配達にこだわっている。同店は昭和39年に、父親である先代が西東京市谷戸町で開業。食料品店から始め、現在は日本酒、ワインなど酒類を200種類ほど扱っている。人情に厚い地元商店街で育った山崎社長のモットーは、人とのコミュニケーション。来店者との会話を円滑にする商品の

つに、味噌の量り売り(平成25年度西東京市一店逸品事業サービス部門認定)がある。密封しない量り売りは、発酵を完全に止めないため、味噌本来の風味が楽しめるという。信州味噌2種類と仙台味噌、佐渡味噌の計4種類があり、味噌は地域によって味も色も異なるため、取り分けながら、故郷談義に花が咲くという。もう一つのこだわりは、長年続けてきた御用聞きと配達。山崎社長は15年ほど前に全国厳選のグルメリも届けようと

「ハートフルなうまいもの屋」を立ち上げた。酒問屋を介しておすすめの酒と惣菜などを各地から取り寄せ、同会に加盟する店が顧客に笑顔とともに毎月自宅に届けるといふものだ。「重い物やかさばる物、厳選食品などを無料配達します。皆さまのお役にたてたら嬉しいですよ」と山崎社長は笑顔で語る。

### 企業 Data

#### 有限会社三又酒店(さんまたさけてん)

◆住所:西東京市谷戸町2-10-5  
◆電話:042-422-0102

西東京市 (有)三又酒店 検索

## 西東京市の女性経営者紹介

### COLUMN



ロンドン五輪の競泳プールサイドに立つ広橋副院長

ワキ鍼マッサージ整骨院を二人三脚で運営する広橋夫妻

五輪公式トレーナーの経験・知識を地域の人たちの治療に生かしたい  
ワキ鍼マッサージ整骨院にオリンピックピック競泳史上初の女性公式トレーナーがいる。広橋憲子副院長だ。昭和60年、夫の清行さんが同院を開業後、一時体調を崩したのを機に経営に参加、共同代表となる。治療院で鍼灸マッサージの施術をする傍ら、水泳国際大会への帯同や、筑波技術大学でマッサージ実技を教えている。常に上を目指し、新技術を学ぶため世界各国に留学し、学会発表や全国で講演会も行っている。広橋副院長は、子育てしながら柔道整復師、鍼灸師、マッサージ教員養成の資格を取得。寝る間もなかったが、家事の手抜きはしなかった。「女性が仕事をするのは、しっかり家事をしてから」がモットーだという。同院は、中高年女性の更年期障害、生理痛、肩こりなどのほか、各種スポーツ系トレーニングの疲労回復、競技力向上に有効なマッサージなどをする地域に密着した治療院。広橋副院長自らも体力維持のため体幹トレーニングを欠かさず、患者の手本となっている。臨床歴約30年。積み重ねた経験と治療センスはJOC(日本オリンピック委員会)にも認められ、北京五輪とロンドン五輪競泳日本代表チームの公式トレーナーとして帯同している。今後は勉強のペースを上げ、不妊治療やストレスによる体調不良の治療向上などを目指す。「誰もが元気で長生き」が広橋副院長の思い。「培ってきた技術を地域の人たちに還元し、次の世代に伝えていきたい」と話す。

企業 Data ワキ鍼マッサージ整骨院 ◆住所:西東京市ひばりが丘北4-1-7 ◆電話:042-424-3431

ワキ鍼マッサージ整骨院 検索